

JCHO札幌北辰病院広報誌 ポラリス

Polaris

hokushin.jcho.go.jp

No.66

2023.12

〈特集〉

MRI装置リニューアル



独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO 札幌北辰病院

耳鼻咽喉科 診療部長 栗原 秀雄

耳鼻咽喉科では、耳鼻咽頭喉頭頸部の悪性腫瘍に対し、速やかに組織生検、画像検査を行っています。甲状腺がんに対しては、手術を行っており、反回神経の確実な温存のためNIM(術中神経モニタリングシステム)を導入しました。甲状腺がん以外の悪性腫瘍は集学的治療を要することが多く、診断がつき次第、組織型、進展範囲、患者さんの状況に応じて適切な医療機関に紹介しています。

外来化学療法室の環境整備

外来治療の増加に伴い、プライベートを守りつつ、患者さんがリラックスして治療を受けられるよう、各ベッド間はカーテンで仕切られ、音楽を聴く事、読書、飲食などは自由に行うことが可能です。スタッフ一同、患者さんがリラックスした環境のなかで落ち着いて抗がん剤治療が受けられるように努めています。



消化器内科 医師 八木澤 允貴

消化器内科では数多くの臓器と疾患を診療しており、悪性腫瘍に限っても食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、膵がん、胆道がんといったメジャーながん種に加え、GIST(消化管間質腫瘍)、十二指腸がん、小腸がん、消化管・肝胆膵の神経内分泌がんなどの希少ながん種にも対応しております。また、北海道大学病院と連携し、大学病院で実施している臨床試験・治験(承認前の新規薬剤の有効性・安全性を検証するもの)などの情報を随時更新し、標準治療以外の治療選択肢を希望される場合にはご相談やご紹介をさせていただいております。

多職種でがん患者さんをサポート

がん治療に伴う副作用に対して、管理栄養士が食事を通して緩和や改善策を提案しています。また、身体的な機能の低下については、理学療法や作業療法を通じて身体機能の回復を目指してサポートしています。



皮膚科 医師 辻脇 真澄

がん薬物療法に起因する皮膚障害については、当院皮膚科において幅広く対応しております。例えば、マルチキナーゼ阻害薬による手足症候群は悪化すると疼痛による歩行困難をきたすため、早期に介入することで少しでも苦痛が緩和される可能性があります。また、近年使用症例が増加している免疫チェックポイント阻害薬も全身の紅斑や粘膜症状、自己免疫性水疱症様皮疹、扁平苔癬様皮疹などのirAEと呼ばれる様々な皮膚症状を呈することが知られており、重症度に応じた加療を行うことで、化学療法の継続を適切に支援しております。

医療機器のメンテナンス

当院では、技術的な専門知識を持つ臨床工学技士が医療機器のメンテナンスを行っております。化学療法などで使用される装置についても、効果的かつ安全に使用できるよう、適切な管理と保守を担当しています。



特集

MRI装置リニューアル



バンテージ フォルティアン

キャノンメディカルシステムズ社製

Vantage Fortian

MRI検査とは？



MRI検査は、Magnetic Resonance Imaging（磁気共鳴画像）の略で、強い磁気と電磁波を利用し、身体の内面を画像化する検査方法です。患者さん自身の身体の位置を変えなくても、縦・横・斜め方向など、あらゆる角度から体内の3次元画像を作り出すことができます。X線を使用しないため、放射線被ばくの心配がなく、子どもや妊娠中の方も安心して受けられます。

また、造影剤（画像診断検査の精度を高めるために用いる薬剤）を使用しなくても、大きな血管や胆管、膵管を撮影できることも特徴のひとつです。

当院では、治療前がんの有無や広がり、他の臓器への転移がないかを調べたり、治療の効果を判定、治療後の再発がないかを確認するなど、さまざまな目的で活用されています。

撮影時間の短縮と

画質向上の両立が実現



MRIは検査の原理上、「撮影時間を短縮すると画質が低下する」という特徴がありました。

今回、当院で導入した新装置では、AI技術を用いた画像再構成技術が搭載されたことで、ノイズが少なく滑らかで鮮やかな画像を得ることが可能となりました。また、それにより従来と比較して短時間での撮影が実現し、これまで難しいとされていた、「撮影時間の短縮と画質の向上の両立」が可能となりました。

広い検査空間の提供



今回、当院で導入した新装置は、これまでの装置と比べて広い検査空間となりました。それにより、閉所が苦手な方や高齢の患者様にもリラックスして検査を受けていただけます。



教えて！ ピカ太郎

Q1) MRI検査はどうして大きな音がするの？



A1) 磁力が装置のコイルを伸ばしたり、縮めたりして振動させてしまうため

MRI撮像時は、大きな磁石の中にある傾斜磁場コイルに電流を流します。すると、フレミングの左手の法則により力が生じ傾斜磁場コイルが振動します。その振動エネルギーが磁石本体などに伝播することによって音が生じます。また、検査中は磁場を発生させる為のスイッチのオン・オフを高速で何回も繰り返すため、騒音が連続して聞こえます。

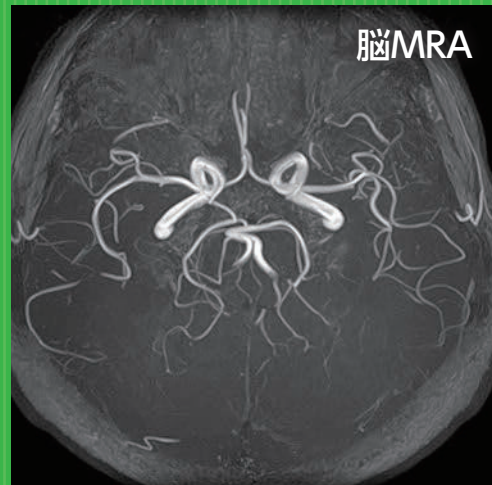
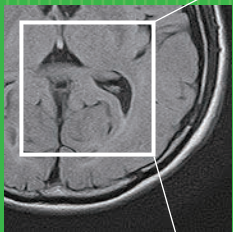


Q2) 心臓ペースメーカーを装着しているとMRI検査はできないの？

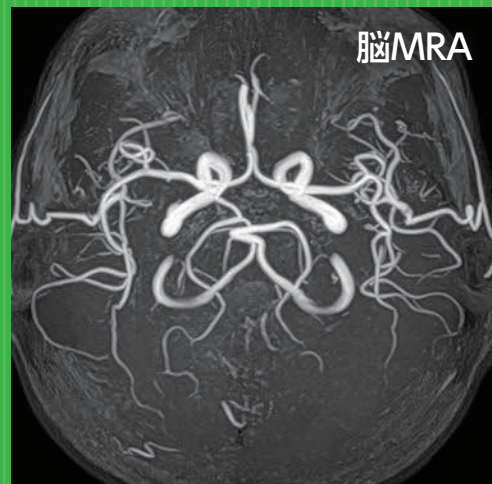
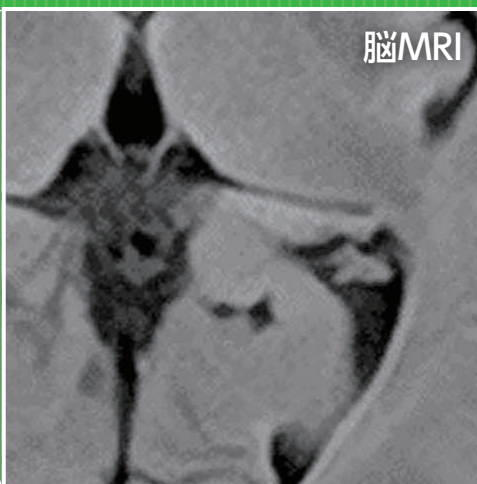
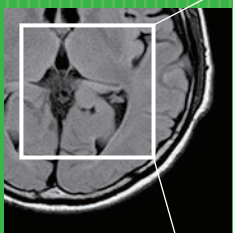
A2) 当院では、心臓ペースメーカーを装着している場合も検査を受けることが可能です。

近年、MRI検査対応のペースメーカーが開発され、一定の条件下でMRI検査が可能となりました。しかし、MRI検査対応のペースメーカーであっても全ての施設で検査を実施できるわけではなく、認定を受けた施設でのみ検査が可能です。

当院では、トレーニングを受けて認定された、循環器内科医、放射線科医、診療放射線技師、臨床工学技士が在籍しており、協力して検査を施行しております。



従来装置



(A) 新装置
機能搭載

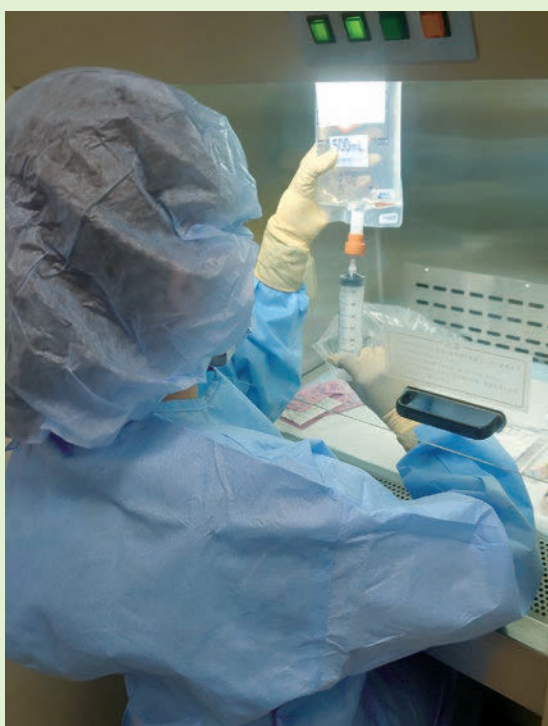
数字でナルホド 札幌北辰病院

現在、当院で使用可能な内服抗がん剤は約60種類、注射抗がん剤は約70種類あります。がん薬物療法は多職種からなる化学療法委員会で、その安全性や有効性が審議され、レジメン*として登録されます。当院での登録レジメン数は、現在392にのぼります。より安全ながん薬物療法に貢献するため、薬剤部では様々な業務を行っています。今回は薬剤部の取り組みを数値化し一部をご紹介します。

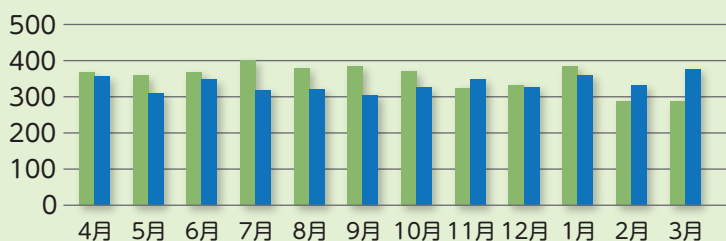
*がん種・治療目的ごとに使用する抗がん剤の種類、用法用量を指定する指示書のこと

〈抗がん剤調製〉

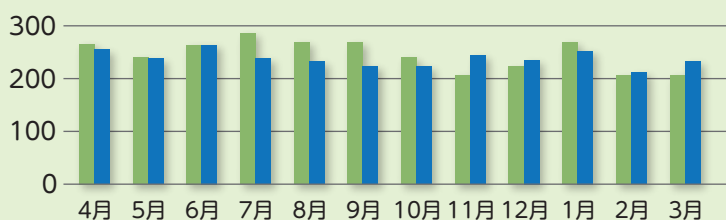
当院で施行する注射抗がん剤は全て、薬剤師が“安全キャビネット”にて、安全かつ無菌的に調製を行っています。調製件数は年間4000件以上(延べ人数約2800人)に及びます。年間を通して継続的に安定した薬物治療ができるよう、業務に取り組んでおります。



薬剤師が調製した抗がん剤の数
(抗がん剤無菌調製件数)



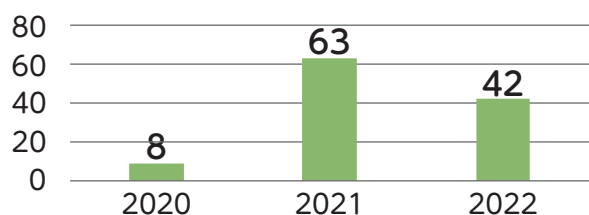
注射 抗がん剤治療を行った人数
(無菌性剤処理料 I 算定件数)



〈薬薬連携〉

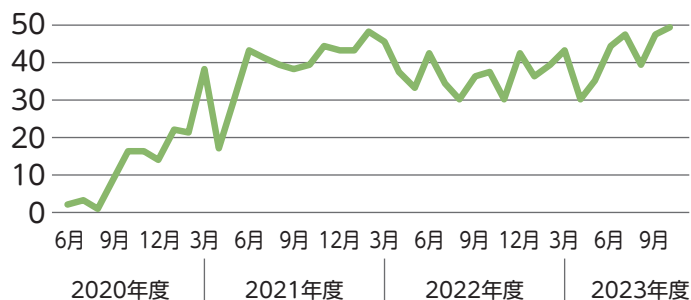
当院では2020年度より設けられた“連携充実加算”の算定に取り組んでおり、患者さんが病院外でもより安心な抗がん剤治療がうけられるように、院内・院外の薬剤師間で副作用発現状況の共有や、医療者向けセミナーの協力開催など積極的に行っております。導入以来、算定件数は上向きに推移しており、安定した治療の管理ができるよう日々取り組んでおります。

【トレーシングレポート*件数】 ※がん関連のみ



* 保険薬局で患者から聴取した副作用情報などを、院内に提供するレポートのこと。

【連携充実加算件数推移】



— わたしのお仕事 —

病態に応じた適切なアプローチで 患者に最適な疼痛管理を提供

がん性疼痛看護認定看護師
佐々木 美穂

がんによる痛みの性質や患者さんの状況を観察し、適切な疼痛コントロールができるよう、調整します。
患者さんの生活の質を向上させるため、主治医だけではなく、多職種で連携し、取り組んでいます。

Q1 どのようなときにやりがいを感じますか？

患者さんの生活状況を伺う中で、病気の進行に気が付くことがあります。主治医に状況を報告し、検査結果から新たな治療に繋ぐことができたときに、症状緩和に対してチームで取り組んでいることにやりがいを感じます。

Q2 大切にしていることは？

患者さんが病気になったあとも、可能な限りこれまでどおりの生活を送ってもらえるようにサポートすることも私の役割です。そのためには、がん患者さんに関わる看護師への指導や教育の実践は重要だと考えています。

また、院内だけではなく、地域の看護職者の方々に対しても、同じ気持ちで患者さんの生活を支援できるよう、相談しやすい環境づくりを心がけています。

Q3 患者さんに向けてメッセージを

インターネットの普及により、がんに関する様々な情報をご自身で調べられる時代ですが、「直接聞いてみたい」「相談したい」ときは、当院のがん相談窓口へお気軽にご相談ください。



Off shot



10歳、5歳の息子を子育て中。
休日は野球ざんまいの生活を
送っています！

病院からのお知らせ

平日はお忙しい皆さまへ

ご自身の健康管理に
ぜひ土曜健診を
ご活用ください



土曜健診 予約受付中

健康管理センターでは月2回、土曜健診を実施しています。土曜日にも診察時に血液検査の結果を説明いたします。また、健康診断だけではなく、乳がん・子宮がん検診や胃カメラ検査、骨折や骨粗しょう症のリスクを判定する骨密度検査、腹部の異常を確認する腹部超音波検査、アレルギー検査等、様々なオプション検査もお申込みいただくことが可能です。

予約受付



011-893-5881

(受付時間：平日 13:00～16:00)

※事前予約制となります



いきいき健康教室 完全予約制

- 2023年12月22日** 金 14:00～ 当院2F 講義室
「慢性副鼻腔炎の手術」 竹川 葉奈 医師 (耳鼻咽喉科 医師)
- 2024年 1月30日** 火 14:00～ 当院2F 講義室
「眼の病気について」 廣瀬 茂樹 医師 (眼科 診療部長)
- 2024年 2月28日** 水 14:00～ 当院2F 講義室
「糖尿病について知ろう」 増田 創 医師 (糖尿病内科 診療部長)
「フットケアについて」 河村 美穂 (腎・透析センター 看護師)

申込方法 **011-893-3000** (受付時間：平日 9:00～16:00)



院長 こいけのゆしみ



私は体を動かすことが好きで、大学時代はボート(艇)を漕いでいました。「ボート競技」と言うと競艇をイメージする方も多いことから、2023年1月から「ローイング競技」と名称が変更されました。

ローイングは、水上でボートに乗り、オールを使ってある一定の決められた距離を漕ぎ、その着順を競うスポーツです。ローイングには様々な種目があり、1名の漕手がスカルオールを右手と左手に1本ずつ持ち、計2本のオールでゴールまでの速さを競う「シングル」、4名の漕手が左右に2名ずつ分かれ、それぞれが両手で1本、計4本のスweepオールでゴールまでの速さを競う「クワッド」、8名の漕手が左右に4名ずつ分かれ、それぞれが両手で1本、計8本のスweepオールでゴールまでの速さを競う「エイト」などがあります。

どの種目においても全身の筋肉と心肺機能を酷使するため、全てのスポーツの中で“最も肺活量を使う”と言われているほどです。また、コミュニケーションやチームワークがなければ、ボートのバランスを崩しやすく、ボートの進行にも支障が生じる可能性があります。クルー内のメンバーは、同じリズムで漕ぎ、同じ方向にボートをを進める一斉な漕ぎが速度向上につながります。

大学卒業後、一度はローイング競技から離れていましたが、マスターズ大会に出場したのをきっかけに15年前から再開しました。ローイング競技の全日本マスターズ大会は、毎年、全国各地で開催されており、旅行がてら試合に出場することができます。いまでは、ローイング競技を通じて全国に交友の輪が広がり、横浜や新潟など、他県の大会にも出場するなど、とても楽しい趣味になっています。

また、マスターズ大会には80歳以上の方々も多く参加しており、私も80歳を超えても出場できるように日々体力づくりに励んでいます。



◀ 全身を使うとても激しいスポーツです。



大会の様子▶
一番右端で漕いでいます。

